

レクリエーションゲーム (動作あり)

※「となりのとなり」～自己紹介をもっと楽しく～

※1 2 3 ゲーム

※パチパチエイト

※指キャッチゲーム

※命令ゲーム

※言うこと一緒、やること一緒

※ナンバーコール

※フルーツバスケット



「※となりのとなり」～自己紹介をもっと楽しく～

<https://www.youtube.com/watch?v=15qkWFIX2Lg>



- ①全員で輪になり、スタートの人を決めます。
まずスタートの人が自己紹介をします。（例:サンソンです）
- ②2人目は「（1人目の名前）のとなりの（自分の名前）です」と自己紹介します。（サンソンさんのとなりの、マリーです）
- ③3人目以降も同様に、自分より前に自己紹介した人の名前を全員分言った後に、自分の名前を加えて伝えていきます。
（サンソンさんのとなりの、マリーさんのとなりの、ジャンです）

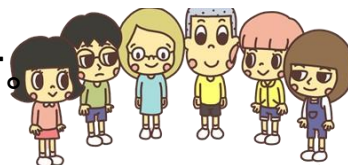
※123ゲーム <https://www.youtube.com/watch?v=mEhvxXriWaY>

輪になって「1、2、3」と繰り返す遊びです。
数字を言うのと同時に1の人は指を立てます。
2の人はニコリと笑ってピースをします。
3の人は手を叩きます。



準備

内側を向いて輪になります。スタートの人を決めます。



ゲームスタート



- ①スタートの人から順番に「1、2、3、1、2、3、1、2、3」と数字を繰り返し、言っていきます。
- ②最後の人まで回ったら初めの人に戻ります。

数字を言うのに慣れてきたら、アクションを加えます。

1の人は「1」と言って人差し指を立てます
2の人は「2」と言ってニコリ笑いな
がら、ダブルピースをします。
3の人は「3」と言いながら手を叩きます。

始めはゆっくり、慣れてきたらスピードアップします。



指を立てる ダブルピース 手を叩く



※パチパチエイト <https://www.youtube.com/watch?v=3dyfSI06b2o>



8の倍数か、後ろに8がつく数字

例えば、8の倍数は8、16、24など。

後ろに8がつくのは、18、28、38などがあるね。

1から順番にひとりずつ言っていきます。

さっき言った8の倍数、うしろに8がつく数字のときは、拍手をしてください。

例、1、2、3、4、5、6、7、パン、9、10、11、パン...
というように例を見せる。

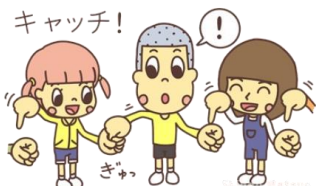
うまく出来たら、スピードを上げてみましょう。

なれてきた頃に数字を、3、7などに変えてやると間違いやすいです。

※指キャッチゲーム <https://youtu.be/Jjicj1vtvKM>



キャッチ!



リーダーの合図で隣の子の指を握って、
自分の指は握られないように素早く引くゲームです。

一本指とつつ

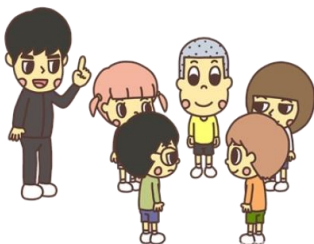
指キャッチの遊び方

①みんなで内側を向いて輪になります。

②右手の人差し指を立てます。

③左手の親指と人差し指で、輪っかを作ります。

④右隣の人の輪っかに、人差し指を入れて待ちます。

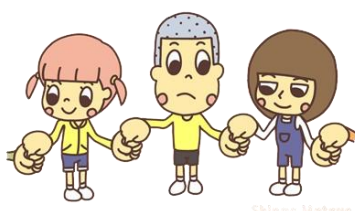


ゲームスタート

リーダーが
「キャーキャーキャー・・・」と
言います。

リーダーが「キャッチ!」と言っ
た瞬間に、右手の人差し指は引いて、左手の輪っか
をギュッと握ります。
指を引くのが遅くて握られてしまった人は負けです。

キャーキャー キャー



キャッチ!



※命令ゲーム

<https://www.youtube.com/watch?v=qn1pdSF-5RI>

はじめまーす



「リーダー」を1人決めます。
リーダー以外の方は「子」になります。



めいれい
しゃがめ!



リーダーが「命令、しゃがめ」と言ったら、
子はしゃがみます。

うしろむいて!



リーダーが「後ろを向け」と言った場合は、
「命令」とは言っていないので、子は指示に
従いません。リーダーが「命令」と言った時
にだけ指示に従います。

リーダーの出す指示に間違って従わない子
(命令と言わないのに動いた場合や、命令と
言ったのに動かない場合)は負けです。

左手をさげろ!



※言うこと一緒、やること一緒

<https://www.youtube.com/watch?v=0CMbnupN-7g&t=20s>



☆ ゲームの進め方

- ①リーダーが「言うこと一緒、やること一緒、右!」と言う。
- ②リーダーの「右!」に続けて、一列(6人程度)になって手をつないだ子は「右」と言いながら右へ ジャンプする。
- ③リーダーは「右」の他に、「左」「前」「後」などとジャンプする方向を指示する。
- ④リーダーの指示に合わせて、仲間と上手にジャンプできると楽しい

★ 応用編

※「言うこと一緒、やること逆」や「言うこと逆、やること一緒」など、リーダーの指示を変えてみよう。

※ナンバーコール

https://www.youtube.com/watch?v=5DCZj_3SyM0

人数 5、6人
場所 どこでも可能
準備 小さな輪になる。



※一人一人に番号をつけておく。

1. ゲームの説明

「両手でグーを作り、縦向きにします」

※親指が上向になるようにして実際に見せる。

パンパン（手拍子2回）「1と言って右の親指を立てます。」

「1と言った後、自分以外の番号を言います。」

「その時は、左の親指を立てましょう。」

パンパン（手拍子2回）「1、5というようにね。」

2. ゲームをする

「やってみよう。」

パンパン「1、4」※1番の人が言う

パンパン「4、6」※4番の人が言う

パンパン「6、2」※6番の人が言う



※フルーツバスケット

<https://www.youtube.com/watch?v=mTOyODTBhC8>

使うもの:椅子（人数より、1つ少ない数）

ルール

1、椅子を輪にして並べ、内側を向いて座る。

2、一人、椅子の真ん中に立つ人を決める。

3、立つ人も含めて、子どもたちをそれぞれ

3～4種類のフルーツにわけると。

例えば、一人ひとり、「りんご」「バナナ」「みかん」「もも」と順番に何のフルーツかを伝えていき、子どもたちは自分が何のフルーツなのかを覚える。

4、自分のフルーツを覚えたところで、いよいよゲーム開始！

真ん中に立つ人は、さっき組み分けられたフルーツのなかから、好きなフルーツの名前を言う。

例：「もも！」

5、自分のフルーツの名前を言われた人は、座っていた席から離れて、他の空いている席に移動して座る。

この時、真ん中に立っていた人も空いている席を探して座る。

6、椅子に座れなかった人が、輪の真ん中に立ち、4～5を繰り返す。

